

平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月12日

上場会社名 株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3387 URL <http://www.createrestaurants.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 晴彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 川井 潤 (TEL) 03(5488)8001
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日 配当支払開始予定日 平成30年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	60,594	2.1	2,868	△22.4	3,261	△17.3	1,356	△16.2
30年2月期第2四半期	59,322	4.1	3,698	5.6	3,944	5.3	1,617	△26.0

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 1,669百万円(△22.7%) 30年2月期第2四半期 2,158百万円(△8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	14.37	14.35
30年2月期第2四半期	17.14	17.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	73,701	27,519	27.4
30年2月期	72,222	26,548	28.0

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 20,200百万円 30年2月期 20,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	5.00	—	5.00	10.00
31年2月期	—	6.00			
31年2月期(予想)			—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	125,000	—	7,600	—	7,400	—	5,100	—	4,000	—

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、平成31年2月期通期連結会計期間より、日本基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたします。このため、平成31年2月期の連結業績予想は、IFRSに準拠した数値を表示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	94,722,642株	30年2月期	94,722,642株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	333,275株	30年2月期	333,275株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	94,389,367株	30年2月期2Q	94,389,367株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、海外における不安定な政治動向や地政学的リスクの継続等の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、消費者マインドが緩やかに改善しつつあるものの、物流費の上昇に伴う原材料価格の高止まりや、長引く人手不足による人件費の上昇に加え、大阪府北部地震や西日本を中心とする天候不順等の自然災害の影響により、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした環境の中、当社グループは、3月に東京ミッドタウン日比谷の地下1階にある「HIBIYA FOOD HALL」の運営を一括受託し、グループ事業会社3社で8店舗出店したほか、商業施設や繁華街・駅前、郊外ロードサイド立地へカフェ業態や餃子居酒屋業態等それぞれの専門業態や新しい業態を計画的に出店し、グループ全体では36店舗の新規出店、10店舗の撤退を実施いたしました。また、第1四半期連結累計期間より、株式会社クリエイト・ペイサイドの17店舗を新たに連結の対象に加えたほか、業態変更や改装を積極的に行った結果、当第2四半期末における業務受託店舗等を含む連結店舗数は907店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は60,594百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益2,868百万円(前年同期比22.4%減)、経常利益3,261百万円(前年同期比17.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,356百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,641百万円増加し、19,669百万円となりました。この主な要因は、売掛金が1,051百万円、現金及び預金が262百万円増加したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ162百万円減少し、54,031百万円となりました。この主な要因は、のれんが395百万円減少した一方で、有形固定資産が144百万円増加したこと等によるものです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ507百万円増加し、46,182百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が3,000百万円減少した一方で、長期借入金が2,926百万円、未払費用が562百万円増加したこと等によるものです。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ971百万円増加し、27,519百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が884百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末から262百万円増加し、12,947百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は3,938百万円(前年同期比40.2%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,942百万円、減価償却費2,119百万円を計上したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によって使用した資金は2,631百万円(前年同期比19.9%減)となりま

した。これは主に、固定資産の取得による支出1,991百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によって使用した資金は994百万円(前年同期比6.9%減)となりました。これは主に、長期借入れによる収入5,700百万円があった一方で、有利子負債の返済・償還による支出5,951百万円、配当金の支払額473百万円及び連結子会社の自己株式取得による支出104百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しといたしまして、当社グループは、「グループ連邦経営」の強みである消費者ニーズ等に対する変化対応力をさらに進化させるべく、引き続き新しいコアコンセプトブランドの開発、業態変更や改装の実施による既存事業の収益性の向上に取り組み、事業基盤の強化を図ってまいります。また、M&Aにおきましても、引き続き積極的に検討を行い、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

また、当社は、国内外のM&A推進に向けた基盤整備、資本市場における国際的な比較可能性の向上、並びにグループ内の会計基準の統一による経営管理の最適化等を目的として、平成31年2月期の通期業績より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用することとしております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、概ね順調に推移しており、平成31年2月期の通期の業績予想につきましては、平成30年4月25日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,685	12,947
売掛金	2,614	3,665
原材料及び貯蔵品	550	556
その他	2,178	2,500
流動資産合計	18,028	19,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,337	20,563
その他（純額）	6,819	6,739
有形固定資産合計	27,157	27,302
無形固定資産		
のれん	13,166	12,771
その他	1,710	1,670
無形固定資産合計	14,877	14,441
投資その他の資産		
差入保証金	9,451	9,672
その他	2,708	2,614
投資その他の資産合計	12,159	12,287
固定資産合計	54,194	54,031
資産合計	72,222	73,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,641	3,488
短期借入金	3,000	—
1年内償還予定の社債	510	510
1年内返済予定の長期借入金	5,118	5,284
未払金	2,722	3,165
未払費用	2,001	2,563
未払法人税等	1,865	44
賞与引当金	620	716
ポイント引当金	266	248
株主優待引当金	364	389
店舗閉鎖損失引当金	22	16
資産除去債務	201	241
その他	1,355	1,787
流動負債合計	20,691	18,457
固定負債		
社債	2,050	1,795
長期借入金	17,736	20,663
退職給付に係る負債	635	702
資産除去債務	2,658	2,775
その他	1,902	1,787
固定負債合計	24,983	27,724
負債合計	45,674	46,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,012	1,012
資本剰余金	3,792	2,962
利益剰余金	14,947	15,831
自己株式	△20	△20
株主資本合計	19,732	19,785
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	486	436
退職給付に係る調整累計額	△21	△21
その他の包括利益累計額合計	465	414
非支配株主持分	6,350	7,319
純資産合計	26,548	27,519
負債純資産合計	72,222	73,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	59,322	60,594
売上原価	17,017	17,351
売上総利益	42,305	43,242
販売費及び一般管理費	38,606	40,373
営業利益	3,698	2,868
営業外収益		
協賛金収入	297	298
その他	82	209
営業外収益合計	380	507
営業外費用		
支払利息	97	84
その他	37	29
営業外費用合計	134	114
経常利益	3,944	3,261
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	7
消費税等免除益	486	—
その他	0	4
特別利益合計	486	11
特別損失		
減損損失	538	253
店舗閉鎖損失引当金繰入額	65	41
その他	163	37
特別損失合計	767	331
税金等調整前四半期純利益	3,664	2,942
法人税等	1,502	1,222
四半期純利益	2,161	1,719
非支配株主に帰属する四半期純利益	543	363
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,617	1,356

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	2,161	1,719
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△2	△50
退職給付に係る調整額	△0	0
その他の包括利益合計	△2	△50
四半期包括利益	2,158	1,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,615	1,305
非支配株主に係る四半期包括利益	542	363

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,664	2,942
減価償却費	2,165	2,119
減損損失	538	253
のれん償却額	477	451
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63	96
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△20	△17
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	48	24
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	52	△6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△45	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	4
支払利息	97	84
固定資産除却損	101	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△853	△1,030
仕入債務の増減額 (△は減少)	774	778
未払費用の増減額 (△は減少)	387	393
その他	△377	919
小計	7,094	7,023
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△97	△84
法人税等の支払額	△990	△3,006
法人税等の還付額	576	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,587	3,938

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△2,964	△1,991
資産除去債務の履行による支出	△151	△46
短期貸付けによる支出	—	△399
差入保証金の差入による支出	△439	△311
差入保証金の回収による収入	195	129
関係会社株式の売却による収入	70	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△14
その他	4	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,285	△2,631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△3,000
長期借入れによる収入	3,900	5,700
長期借入金の返済による支出	△3,465	△2,607
社債の償還による支出	△265	△255
リース債務の返済による支出	△152	△88
連結子会社の自己株式取得による支出	△333	△104
配当金の支払額	△612	△473
非支配株主からの払込みによる収入	33	—
非支配株主への配当金の支払額	△127	△121
その他	△45	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,068	△994
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,223	262
現金及び現金同等物の期首残高	9,779	12,685
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,003	12,947

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。